

つるい

2026

1

773号



新年のご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～3

高齢者入所施設のあり方に関するアンケート調査結果・・・・・・ 7

行政事務標準文字導入についてのご案内・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

鶴居村農業委員候補者の募集について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10



新年のごあいさつ

鶴居村長 大石 正行

村民の皆様、あけましておめでとうございます。ご家族お揃いで希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと謹んでお慶びを申し上げます。また、村民の皆様には常日頃より村政各般にわたり格別のご支援、ご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

さて、昨年の国際情勢を振り返りますと、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、中東ガザ地区におけるイスラエル・パレスチナ紛争の激化に加え、台湾海峡を巡る問題など、地政学的緊張が一層高まりました。

一方、国内に目を向けますと、昨年10月に第104代内閣総理大臣として高市早苗氏総理大臣が就任し、憲政史上初めて女性が首相となる歴史的な政権が誕生いたしました。

また、4月13日から10月13日までの184日間、大阪・夢洲において「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)」が開催されました。

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、158か国世界中から多くの方々が訪れ、日本の技術や文化、そして未来社会の姿が世界に向けて発信されたところであります。

なお、本村においても9月6日から3日間ブースを出展し、タンチョウが生息する豊かな自然環境を始めとした村独自の魅力をVR画像で上映するなど、村の認知度向上、観光誘客及び関係人口の創出につなげるためのPRに努めたところです。

地域の動きに目を向けますと、昨年3月に鶴居中学校校舎等の大規模改修工事の完了を見たところであり、4月から生徒の皆さんが新たな環境で勉学や体力づくりに取り組まれております。今後においては、在校生徒をはじめ、地域住民の皆様にも、村の教育拠点施設として大いに活用いただきたいと願っております。

一方で、昨年3月末をもって長い歴史に幕を閉じた幌呂小学校、幌呂中学校が、それぞれ鶴居小学校、鶴居中学校へ統合されたところであります。なお、閉校後の校舎・体育館等の施設については、幌呂地域の活性化に資するよう有効利用を検討してまいりたいと考えております。

また、昨年4月に、国が推進する「地方創生2.0」の取組の一環として、国の職員が地域に入り、自治体の課題に寄り添いながら支援を行う「地方創生伴走支援制度」に採択されたところであり、本村を担当する3名の地方創生支援官の支援を受けながら、釧路湿原国立公園エリアを活用したアドベンチャートラベル展開事業の推進や、地域の様々な課題解決に向けた取組を今後も進めてまいりたいと考えております。

基幹産業である酪農畜産においては、エネルギー価格の上昇や原材料費の高騰、円安、地政学リスク、人件費や物流費の増加、長期化したコロナ禍の影響から続く牛乳・乳製品の需要低迷など複数要因が重なり、物価高騰が解消されず、厳しい経営環境に置かれています。

村は、これまでも釧路丹頂農協などと協調して、牛乳の消費喚起や原油価格の高騰に伴う緊急経済対策支援補助事業、飼料価格高騰緊急対策補助事業等による経営支援を講じてきたところであり、今後も農業団体や農業者などとともに今後における農業情勢の把握や分析、農家経営の実情等を注視しながら、必要な行動や対策を検討してまいります。

そして、新たな年も本村の持つ魅力や特色を最大限に活かし、村民の皆さんが心豊かに暮らせる環境を確保するとともに、酪農・畜産の持続的な発展や観光を中心とした地域経済の活性化、医療や福祉の充実、教育環境のさらなる向上のほか、かけがえのない自然や美しい景観を守りながら、村全体で力を合わせて「美しい村づくり」推進に努めまいりたいと考えております。

また、つるい未来創造プラン(第5次鶴居村総合計画)のテーマであります「未来を奏でる鶴居スタイルの確立～協働による新たな時代への挑戦～」の実現を目指し、村が取り組んでいかなければならない事務事業が山積しているところであり、本年においても全力で邁進していく所存であります。

併せて、新たな第6次鶴居村総合計画の始期が令和10年であることから、次の10年に向けた新しい村づくりの指針策定の構想にも着手してまいりたいと考えております。

今年の干支は「丙午(ひのえ・うま)」です。「丙」は太陽の輝きのように物事が明らかになり大きく広がる様子を、「午」は天高く駆け回る馬のように旺盛な生命力と、物事が「正午(真昼)」のように明るさの絶頂にあることを表しているそうです。この2つの組み合わせである丙午は、「公明正大に、力強く未来へ向かって駆け抜ける」という非常にエネルギーに満ちた年とされています。村の将来を照らす明るい兆しが見え、私たち一人ひとりの営みが力強く前進する、まさに未来への活力がみなぎる実り多き1年となりますことを心から願っております。

結びに、新年が鶴居村にとって、村民の皆様とともに光り輝く飛躍の一年となりますよう、心からご祈念申し上げ、謹んで年頭のごあいさついたします。

本年もどうぞよろしく願いいたします。



新年のごあいさつ

鶴居村議会議長 松井 廣道

新年あけましておめでとうございます。

希望に満ちた新春をご家族お揃いで迎えられましたこと、謹んでお慶び申し上げます。

村民の皆様には、日頃から村議会に対しまして深いご理解と温かいご支援を賜り、議員一同、深く感謝とお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、社会全体が新たな局面を迎えた一年でした。

国政においては、高市内閣が発足し、政策の方向性や国の課題への取り組みが改めて注目されました。

女性の社会参画や多様性の尊重を進める機運が高まったことは、地方自治体においても重要なテーマであり、本村の村づくりにも大きな示唆を与えることと感じております。

また、急速に進むデジタル化や生成AIの普及は、地域社会の在り方にも影響を及ぼし、行政サービスや教育、産業活動など多くの場面で新たな可能性が広がりました。

こうした中、昨年は世界陸上が日本で開催され、世界屈指の選手たちと競い合う日本人選手の姿は、我々に多くの感動と刺激を与えてくれました。

村内においても、鶴居アスリートクラブをはじめとした様々なスポーツで活躍しており、将来、鶴居村出身又はゆかりのあるアスリートによる活躍も夢ではありません。

村民のスポーツ活動振興や健康維持と増進に大いに期待いたします。

一方で、経済においては、依然として物価上昇やエネルギー費の高騰は、住民生活に直結する問題であり、家計への負担が増しております。

それに対して、昨年は企業や自治体による賃上げの動きや労働環境の改善など、暮らしを支えるための取り組みも全国的に進展しました。

また、人口減少と高齢化という構造的課題は、私たちの地域社会にとって避けて通れない現実として、より鮮明に現れてきています。

子育て支援の強化や移住定住の促進、空き家対策、高齢者の地域包括支援など、地域が抱える課題は複雑さを増しており、村としての政策と住民の協働がこれまで以上に重要となっています。

加えて、デジタル化の推進や脱炭素社会への移行、国際的なイベントや交流の拡大など、未来を見据えた取り組みも加速する中で、地域の持続可能性をどのように確保していくかが問われています。

しかし、制度を整えるだけでは、真に温かく住み続けたいと思える地域は完成しません。

地域を支えるのは、村民お一人おひとりの行動とつながりであり、自治会や学校、企業など、さまざまな主体が連携して力を尽くすことではじめて、地域社会は豊かに育まれます。

2026年も、議会としての役割をしっかりと果たし、村政が着実に前へ進むよう、議員一同力を尽くしてまいります。

今年の干支は丙午（ひのえうま）であります。丙は「陽の火」を表し、午は「午（うま）」で勢いと行動力を象徴します。

丙午の年は、挑戦と成長の年であると同時に、勢いに任せすぎず冷静な判断を忘れないことが肝要とされています。

私たちも地域の伝統を大切にしつつ、新たな挑戦を着実に進め、村の持続的な発展を目指してまいります。

議員一同は、本年も村民皆様の声を真摯に受け止め、政策に反映してまいる所存でございます。

また、女性や若者、高齢者、障がいのある方など、あらゆる立場の方が社会参画しやすい議会運営と政策立案を心掛け、多様な視点を取り入れた持続可能な地域づくりを推進してまいります。

村民の皆様のご健康とご多幸、そして鶴居村の更なる発展を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

あけまして おめでとう ございます

村 長 大石 正行	議 員 佐藤 吉人	教育委員会	委 員 東 隆行	職務代理者 白木 良雄
副 村 長 高松 一哉	議 員 松井 俊治	教育長職務代理者 高橋 文雄	委 員 増田 慶一	委 員 松井 基廣
教 育 長 田中 敏行	議 員 大津 泰則	委 員 坂本 和也	委 員 塩越 克哉	委 員 大槻 典行
	議 員 及川 満浩	委 員 藤原 千晶	委 員 瀧澤 一成	
鶴居村議会	議 員 板 宏哉	農業委員会	委 員 熊谷 郁子	固定資産評価審査委員会
議 長 松井 廣道		会 長 明歩谷正志	委 員 水本 梨佳	委 員 長 野澤 弘幸
副 議 長 松井 洋和	監査委員	会長職務代理者 手塚 信幸		委 員 松井 基廣
議 員 吉田 保博	代表監査委員 灰塚 玲子	委 員 齊藤 滋	選挙管理委員会	委 員 竹中 憲之
議 員 東 隆行	議選監査委員 大津 泰則		委 員 長 渡辺 巖	

ほか職員一同

鳥取県倉吉農業高校より感謝状贈呈

11月6日、鳥取県倉吉市にて、鳥取県立倉吉農業高等学校（秋山勝正校長）創立140周年式典が挙行され、その中で鶴居村に対し感謝状が贈呈されました。

倉吉農業高校の酪農研修は、昭和31年にはじまり、これまで41回、述べ66農場、712名の生徒を受け入れてきました。その功績が称えられ、この度の感謝状贈呈となりました。



札幌ふるさと鶴居会の開催

村出身者など村にゆかりのある方々により構成されている「ふるさと会」が11月15日に札幌で開催されました。当日は、1年ぶりの再会に旧交を暖める方や、新規メンバーとの交流やビンゴ、村に関するクイズなどが行われ大いに盛り上がりしました。

「ふるさと会」では随時会員を募集しております。村民のみなさまにおかれましても、村ゆかりの方をご存じでしたら企画財政課までご連絡ください。

企画財政課 ☎0154-64-2112

交通安全大会

11月21日、総合センターにて鶴居村交通安全運動推進協議会の主催による鶴居村交通安全村民大会が開催されました。

当日は交通事故犠牲者に黙祷を捧げた後、参加者代表による交通安全宣言や釧路方面釧路警察署交通第一課三原課長による講話がありました。

講話では、管内の交通事故数や映像を交えながら実際の事故状況などについて説明がなされ、参加者は改めて交通安全に対する意識を高めていました。

鶴居村は令和7年6月16日に交通死亡事故ゼロ3,500日を達成しています。



感謝状の贈呈

村では、音羽橋周辺での撮影に関するマナー啓発看板を毎冬設置し、タンチョウの保護に努めています。

本年は、株式会社佐々木建設が、地域貢献活動の一環として、看板の設置を行いました。このことから、11月28日役場にて鶴居村タンチョウ保護増殖事業の推進への地域貢献活動を称え、株式会社佐々木建設への感謝状贈呈式を執り行いました。

当日は、佐々木泰三代表取締役社長と佐々木正嗣専務取締役が来庁され、大石村長から感謝状が贈呈されました。

鶴居村ワイン&クラフトビールフェスト開催

昨年度も大盛況だった「鶴居村ワイン&クラフトビールフェスト」が、今年も11月29日に開催され、村内外から約150名の方が来場されました。

当日は、村の山幸ワイン「クロナルージュ2023樽熟成」と、Brasserie Knot（ブラッスリー・ノット）のクラフトビール4種が提供され、村内飲食店が用意したローストベニソンなど村の特産品を使用したスペシャルメニューと共に楽しむ様子が見られました。

このほか、来年から販売を目指す新ワイン「TSURUNO YAMASACHI」の試作品がサプライズで提供されました。この試飲に会場は大いに盛り上がり、参加者は鶴居村の未来の味覚を一足早く楽しみました。



メインコンサート



下幌呂小学校



タンチョウの里鶴居村音楽祭2025

11月26日から30日まで、「タンチョウの里 鶴居村音楽祭2025」が開催されました。今年で3回目となる本音楽祭は、村内外の多彩な演奏家が集い、5日間にわたり地域に音楽の響きを届けました。

26日には、村内小中学校でアウトリーチ活動とミニコンサートを実施し、子供たちが間近で音楽に降れる貴重な機会となりました。28日は鶴居保育園での演奏、29日には「ワイン&クラフトビールフェス」でのコンサートが行われ、村内に賑わいが広がりました。

最終日の30日には、村民スポーツ・健康増進施設でメインコンサートが開催されました。指揮は村在住の石川征太郎氏が努め、ヴァイオリン成田達輝氏、チェロ上村文乃氏、ピアノ中野翔太氏をはじめ、鶴居フィルハーモニー、釧路ジュニアオーケストラ、さらには首都圏を中心に集った多くの演奏家が共演し、特別な音楽を届けました。



保育園



中学生議会

将来の鶴居村を担う若者に政治や議会の役割について関心をもってもらうことを目的に、村内中学生を対象とした中学生議会が12月4日に開催されました。

議員役となった生徒は一般質問で、自然と観光資源の活用についてや鶴居村の酪農についてなどを質問し、それに対して大石村長や田中教育長がそれぞれの質問の趣旨を踏まえながら分かりやすく答弁をしました。

議員役となった生徒以外は、傍聴席にて中学生議会の様子を傍聴し、地方自治や村政について理解を深める貴重な機会となりました。



令和7年度第1回タンチョウ越冬分布調査集計表

	地点数	調査人数	確認羽数			
			成鳥	幼鳥	不明	小計
中久著呂	2	2	6	0	0	6
下久著呂	6	10	36	4	0	40
茂雪裡	2	2	4	1	0	5
支雪裡	2	2	7	1	0	8
中雪裡	10	48	10	4	0	14
下雪裡	15		187	11	0	198
新幌呂	1	1	0	0	0	0
茂幌呂	1	1	2	0	0	2
上幌呂	1	3	0	0	0	0
支幌呂	3		8	1	3	12
中幌呂	1	1	23	2	0	25
中幌呂下	2	2	2	0	0	2
下幌呂・温根内	7	8	4	2	0	6
	53	80	289	26	3	318

タンチョウ越冬調査

12月5日、村内全域で第1回タンチョウ越冬分布調査（調査主体は北海道）が実施されました。

中学生23名を含む地域住民80名が計53地点で調査にあたりました。村内で高病原性鳥インフルエンザ感染個体が確認されたこともあり、給餌場ではまだ給餌が始まっていなかったものの、収穫後のデントコーン畑に群れるタンチョウが複数個所で確認されました。

調査の結果、53地点中28地点で昨年度より120羽多い、318羽が確認されました（成鳥289羽、幼鳥26羽、不明3羽）。地区ごとの確認羽数は表のとおりです。

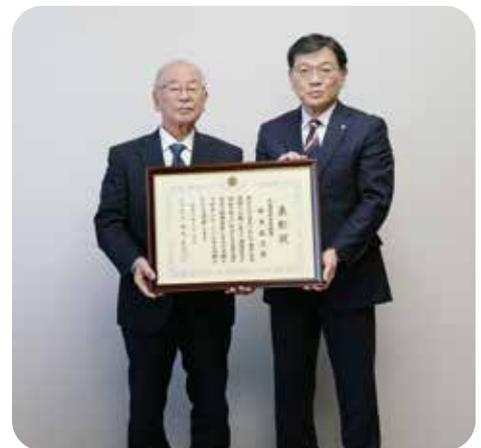
全道の結果は1月中に発表される予定で、2回目の調査は1月23日ごろに実施予定です。

令和7年度北海道社会貢献賞

このたび鶴居村議会議員を歴任し、永年にわたり地方自治の育成発展に貢献した功績が認められ、前鶴居村議会副議長の秋里廣志さんが北海道社会貢献賞を受賞されました。

秋里さんは、平成15年に鶴居村議会議員に初当選、令和元年5月に鶴居村議会副議長に就任し、在任中は行政と住民とのパイプ役として手腕を発揮されました。また、平成23年5月から2期にわたり議会選出の監査委員を務め、村の行政運営と健全な財政運営に尽力されました。

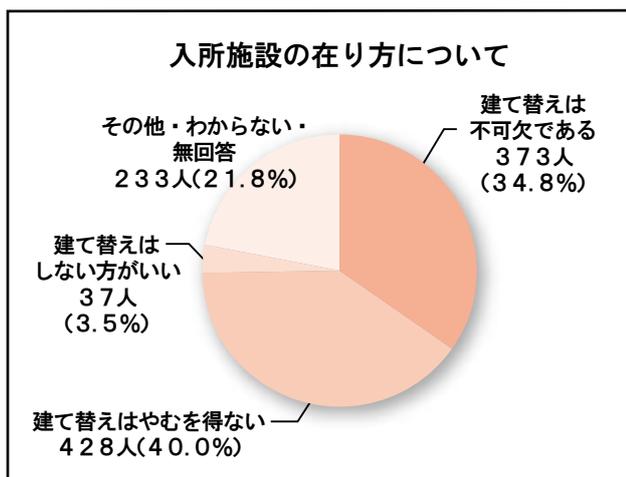
伝達式は12月18日に鶴居村役場で行われ、松井議長らが見守る中、大石村長から賞状と記念品が手渡されました。



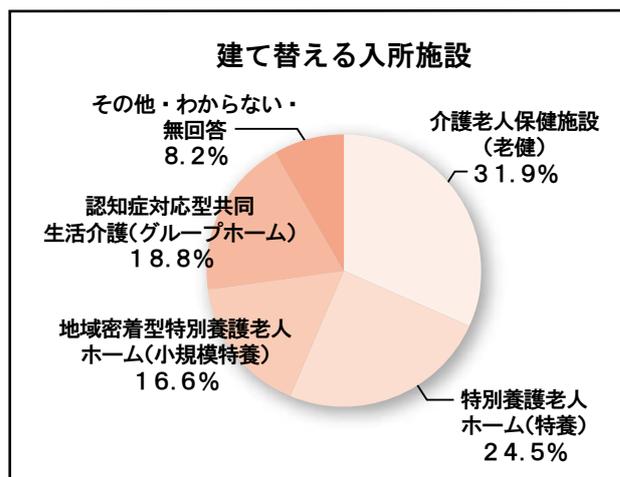
高齢者入所施設のあり方に関するアンケート調査結果

村では、本村唯一の高齢者入所施設である「えんれい荘」の現状をご理解いただくとともに、今後の方向性について、村民皆さんの意向や意見などを把握するため、第10期鶴居村高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定調査と合わせて、高齢者入所施設に関するアンケート調査を実施いたしました。鶴居村に村民登録がある18歳以上を対象に調査票を発送し、郵送とインターネットで回答を集めました。本ページにおいては、すべての調査票共通（3問）の設問結果を掲載いたします。回収率は51.3%（1,071人）です。

対象者	回答数	対象者数	回収率
18歳から65歳未満の村民	533人	1,245人	42.8%
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（65歳以上一般高齢者、要支援認定者）	497人	754人	65.9%
在宅介護実態調査（要介護認定者の在宅生活者）	22人	51人	43.1%
介護施設入所者	19人	38人	50.0%
合計	1,071人	2,088人	51.3%



※%の合計は四捨五入の関係で100%とはなりません。



※複数回答選択形式のため、人数を表示していません。

建て替えを行う際に重視すべきこと

No.	カテゴリー名	%
1	安全性（耐震、バリアフリー）	21.2
2	利便性（交通アクセス、駐車場）	9.4
3	快適性（居室・共用スペースの広さなど）	18.6
4	整備する立地（市街地区、郊外など）	8.9
5	医療・介護体制の充実	29.0
6	整備する入所施設の規模（床数）	9.5
7	その他・わからない・無回答	3.4
	全体	100.0

※複数回答選択形式のため、人数を表示していません。

今回のアンケート調査による集計結果やご意見等を基にして、今後の高齢者入所施設のあり方について具体的な検討を執り進めていきます。今後、決まったことについては、皆様にお知らせしていきます。調査のご協力ありがとうございました。

役場保健福祉課 ☎0154-64-2116

おしらせ

行政事務標準文字

導入についてのご案内

自治体が各種証明書や郵送物で使用する

文字が標準化されます

Q 標準化で何が変わるのですか？

A すべての自治体と同じ文字を使い行政事務を効率化するため、住民票の写しや自治体がみなさまへ発送する郵送物の宛名などに用いる文字が今までと違ったデザインになる場合があります。

Q どのように変わるのですか？

A 部首の大きさ、曲げはねの違い、一部の長さの違いなど、デザインの差（「字形」の違い）の範囲内で変わる場合があります。漢字の骨組み（「字体」の違い）は変わりません。

字体は同じだが、字形（デザイン）が変わる例

硬 → 硬
文字構成要素の大きさの違い

雪 → 雪
文字構成要素内の画の長さの違い

湾 → 湾
文字構成要素内の曲げ止めと曲げ跳ねの違い

空 → 空
文字構成要素内の画と画の接触、非接触の違い

Q いつから変わるのですか？

A 令和7年度から順次導入されます。導入開始時期や、対象となる証明書や郵送物の種類は、自治体により異なります。**鶴居村は令和8年1月13日から変更予定**です。

Q 行政事務標準文字とは何ですか？

A 「行政事務標準文字」は、すべての自治体と同じ文字を使うことによって効率的な行政サービスの実施や大規模災害への迅速な対応ができるよう、導入するものです。戸籍や住民票で使用されている標準的な文字をもとにデジタル庁が作成しました。

Q 今までの漢字は使えないのですか？

A 行政事務標準文字は、自治体が発行する証明書や印刷物、コンピューター処理などで使われるものであって、住民の方が同じ文字を使用しなければならないというものではありません。なお、**戸籍では従来の文字を保持し続けます。**（※1）書類などに使う文字は、手書きの文字であればこれまで通りに使えます。コンピューターから入力する文字は行政事務標準文字を利用することになります。

（※1）戸籍情報システム及び戸籍附票システムは、従来の文字セットを行政事務標準文字と対応させて保持することで従来の文字セット、文字コード及び文字フォントを使用することを経過措置として可能とします。

現在、国では法律（※2）に基づき、これまで各自治体が個別に構築・運用・管理してきた業務システム（※3）の統一・標準化を進めています。その際、文字についても、これまで各自治体がコンピューターにあらかじめ登録されていない文字として独自に作成してきた文字（外字）ではなく、デジタル庁で作成した統一文字規格である「行政事務標準文字」を導入することが原則とされています。これにより、各自治体が個別に外字を作成したり確認したりする手間やコストを省き、異なる部署間・自治体間においても同じ文字規格で効率的な行政サービスが実施できるようになります。

※2 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律（令和3年法律第40号）

※3 対象システム 以下の20業務のシステム

- ①児童手当、②子ども・子育て支援、③住民基本台帳、④戸籍の附票、⑤印鑑登録、⑥選挙人名簿管理、⑦固定資産税、⑧個人住民税、⑨法人住民税、⑩軽自動車税、⑪戸籍、⑫就学、⑬健康管理、⑭児童扶養手当、⑮生活保護、⑯障害者福祉、⑰介護保険、⑱国民健康保険、⑲後期高齢者医療、⑳国民年金

<④戸籍の附票、⑪戸籍に関しては、従来の文字を保持し続けます。>



さらに詳しく知りたい方はデジタル庁ホームページへ

https://www.digital.go.jp/policies/local_governments/character-specification

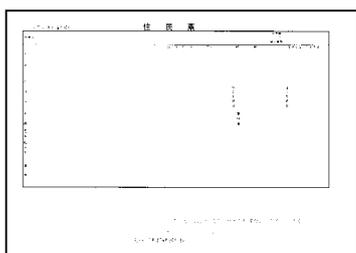
証明書の様式が変わります

住民基本台帳システム等の標準化のため、令和8年1月13日（火）から、「住民票の写し」や「印鑑登録証明書」等の様式が変わります。

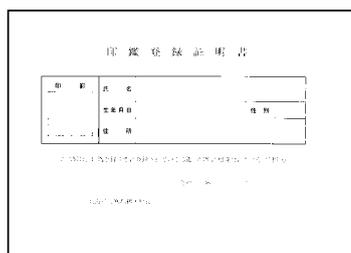
システム標準化の作業に伴いまして、令和8年1月9日（金）午後5時30分から1月31日（土）午後11時までの間、コンビニ交付サービスが利用できなくなりますので、ご了承ください。

【現行】

住民票の写し

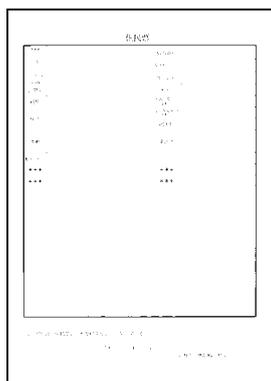


印鑑登録証明書

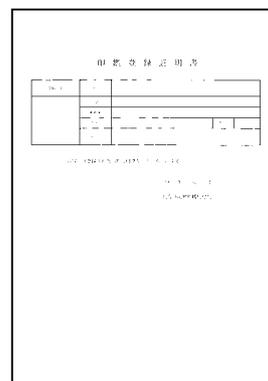


【標準化後】

住民票の写し



印鑑登録証明書



マイナンバーカード・電子証明書の更新手続きについて

「マイナンバーカード」と「電子証明書」には、有効期限があります。

マイナンバーカードや電子証明書の有効期限を迎える方には、有効期限の2か月から3か月前を目途に「有効期限通知書」が送付されますので、内容をご確認のうえ、お早めに更新の手続きをお願いします。

●マイナンバーカードの更新手続き

スマートフォンやパソコン、証明用写真機、郵便で申請ができます。

ご自身で申請が難しい方は、役場住民生活課窓口で申請サポートを実施しております。

●電子証明書の更新手続き

役場住民生活課窓口での手続きとなります。

手続きの際は、マイナンバーカード、マイナンバーカード交付時に設定した暗証番号（6～16桁の英数字、4桁の数字）が必要です。

※電子証明書の有効期限が切れると、マイナ保険証やコンビニでの証明書交付サービスを利用することができなくなります。

【お問合せ先】 鶴居村役場 住民生活課 窓口サービス係
☎0154-64-2113

鶴居村農業委員候補者を募集します!

現在の農業委員は、令和8年7月19日で任期満了となることから、新たな農業委員候補者を募集します。委員の任命は、原則、認定農業者等が委員の過半を占め、かつ、農業者以外の者を最低1名以上任命する必要がありますので、農業者以外の方でも農業委員になることができます。

●募集人員：9人

●任期：令和8年7月20日～令和11年7月19日（3年間）

●身分：鶴居村の非常勤特別職

●報酬：月額47,000円（会長は月額60,000円）

●推薦及び応募資格

（1）農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項その他の農業委員会の所掌に属する事項に関しその職務を適切に行うことができる者。

（2）鶴居村に住所を有する者。ただし、特別の事情があればその限りではない。

（3）次のいずれかに該当する者は、農業委員となることはできません。

◆破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者

◆禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は受けることがなくなるまでの者

◆農業委員との兼職が禁止されている職に就いている者

教育委員、固定資産評価審査委員、人事委員、公平委員など

●推薦及び応募方法

（1）地域からの推薦

（2）団体からの推薦

（3）一般応募

推薦及び応募は、指定された様式に必要事項を記入の上、鶴居村農業委員会事務局へ提出して下さい。様式は、鶴居村農業委員会事務局で配布するほか、鶴居村ホームページからダウンロードすることができます。

●推薦及び応募受付期間：令和8年2月2日（月）～令和8年3月6日（金）

●その他

推薦及び応募者が定数を超えた場合は、評価委員会を開催し委員候補者を決定します。また、推薦を受けた者及び募集に応じた者並びに推薦した者については、応募期間中及び期間終了後遅滞なく、氏名、年齢、職業等を鶴居村ホームページにて公表します。

ご不明な点等がありましたら、鶴居村農業委員会事務局までお問い合わせ下さい。

性別等を問わず、積極的な応募をお願い致します。

【農業委員会とは】

農業委員会は、「農業委員会等に関する法律」に基づいて設置される行政委員会です。

農業者の代表等である委員で構成されており、村長が地域の農業者及び農業関係団体等からの推薦並びに一般公募により候補者を募り、議会の同意を得て、任命する仕組みとなっています。

主な業務は、農地の売買・貸借の許可等（農地法3条、農用地利用集積等促進計画関連）や農地転用の許可及び届出の受理（農地法4条・5条）、遊休農地対策、違反転用防止対策など農地に対する業務をはじめ、農地の税制や農業者年金に関わる業務も行っています。

【提出先・問合せ先】鶴居村農業委員会事務局

鶴居村鶴居西1丁目1番地 ☎0154-64-2114

みんなの掲示板

人口の動き（前月比）

総人口 2,362人（-10人） うち外国人人口 58人（±0人） 死亡事故ゼロの日
男性 1,184人（-4人） 3,668日
女性 1,178人（-6人） 世帯数 1,186世帯（-3世帯） ※すべて11月末時点

議会情報

■第4回鶴居村議会臨時会

今臨時会は11月27日の会期1日で開かれ、6件の議案について審議が行われ原案のとおり議決されました。

- 議案第60号 専決処分の承認を求めることについて
（工事請負契約変更の締結について（下幌呂希の杜第2期分譲地宅地造成その1工事））
- 議案第61号 専決処分の承認を求めることについて
（工事請負契約変更の締結について（村道中雪裡下久著呂線（第二工区）改良工事））
- 議案第62号 専決処分の承認を求めることについて
（令和7年度鶴居村一般会計補正予算（第4号）について）
- 議案第63号 鶴居村一般職員給与条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第64号 鶴居村特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第65号 令和7年度鶴居村一般会計補正予算（第5号）について
- 議案第66号 令和7年度鶴居村診療所特別会計補正予算（第1号）について
- 議案第67号 令和7年度鶴居村簡易水道事業会計補正予算（第1号）について

■第4回鶴居村議会定例会

今定例会は12月10日11日の会期2日間で開かれ、6件の議案について審議が行われ原案のとおり議決されました。

- 報告第7号 専決処分事項の報告について（損害賠償の額を定め、和解することについて）
- 議案第68号 鶴居村行政手続きにおける特定の個人を式悦するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第69号 鶴居村公の施設に係る指定管理者の指定について
（鶴居村地域特産品等販売促進施設「鶴居たんちょうプラザ」）
- 議案第70号 令和7年度鶴居村一般会計補正予算（第6号）について
- 議案第71号 令和7年度鶴居村診療所特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第72号 令和7年度鶴居村介護保険特別会計補正予算（第2号）について

その他

■1月10日は「110番の日」

110番は、事件・事故等が発生した場合に警察に緊急通報するための電話です。電話に出た警察官の質問に、慌てず落ち着いて「いつ」「どこで」「何が」あったのかを教えてください。急を要しない相談やお問い合わせなど、警察相談専用電話（#9110）又は、最寄りの警察署や交番・駐在所にお問い合わせください。

問合せ先：釧路警察署 ☎0154-23-0110

■屋根からの落氷雪事故防止などのお願い

毎年、沿道建物等からの落氷雪による死傷事故が多く発生しています。冬季の通行を円滑にし、事故を無くすため、下記のことにご注意してください。

- ◇落氷雪があった場合は、直ちに事故がないか確認し、歩行者の通行の支障にならないように排除してください。
- ◇交通事故及び交通障害防止のため、屋根からの落氷雪や敷地内の積雪を道路に出さないようにしてください。
- ◇軒下を通行するときは、屋根からの落氷雪に十分注意してください。
- ◇軒下や道路では、絶対に子供を遊ばせないようにしてください。

北海道開発局・北海道・北海道警察・鶴居村

●国道についての問合せ先

釧路開発建設部公物管理課

☎0154-24-7184

釧路開発建設部弟子屈道路事務所

☎015-482-2327



鶴居文芸

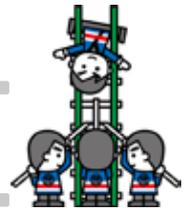
凍原社12月句(俳句)

年の瀬も振り込みゆく収集車
のんびりと南瓜の昼飼十二月
冬ざるる車窓流れし里の山
安泰に今年も暮るる鶴居村
去る日や今年も無事を大掃除
丹頂の別離のちや冬の富士
故郷の鶴居の初冬恋しかり

和春恒紀公ちミ
子夢子代子子えヤ
ノ

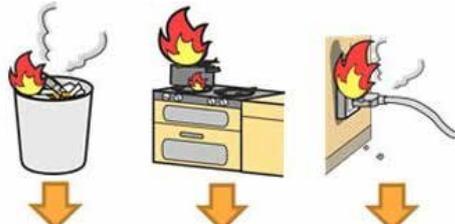


火災のない 良い一年にしましょう



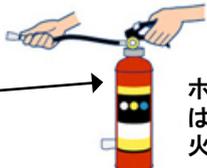
住宅に消火器を置いていますか？

お正月を迎え、料理をする機会が増えることや本格的な寒さとなり暖房を使用する機会が多くなっていると思います。ちょっとした不注意により火が出てしまった場合、消火器があると安心です。小さな炎のうちに消すためにも「1世帯1本」消火器を設置しましょう。
(業務用消火器、家庭用消火器、スプレー消火器など)



消火器の使い方

①  安全ピンに指をかけ、上に引き抜く。

②  ホースをはずして火元に向ける。

③  レバーを強く握って噴射する

	普通火災	油火災	電気火災
ラベル表示			
	普通火災用	油火災用	電気火災用
	白色	黄色	青色

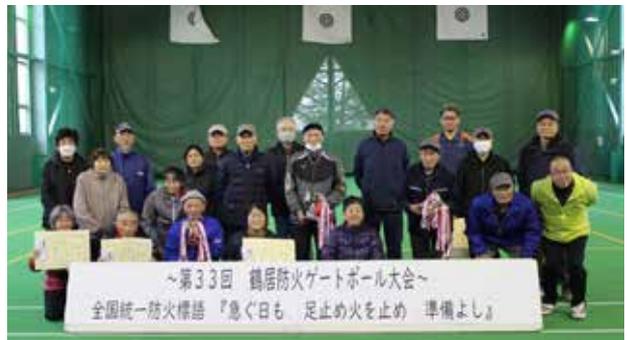
← 古い消火器のラベル表示

既に消火器を設置されているご家庭でも、そろそろ古くなっていませんか？
ラベルが「文字」表記のモノは旧規格の消火器なので、新しいものに交換しましょう。

第33回 鶴居防火ゲートボール大会を開催

令和7年12月11日に鶴居村ふれあいセンターにて「火災予防」と「健康増進」を目的として「第33回鶴居防火ゲートボール大会」を開催しました。鶴居村各地域の4チームが参加し熱戦を繰り広げました。加藤消防署長の挨拶の後、職員による消火器と住宅用火災警報器の説明を行い参加者は熱心に耳を傾けていました。試合の結果は次のとおりです。

- 優勝 上幌呂 チーム
- 準優勝 幌呂 チーム
- 3位 茂雪裡 チーム
- 4位 下幌呂 チーム



～酪農業を営む村民の皆さまへ～

寒さが厳しく牛舎内等で「電気ヒーター」や「ジェットヒーター」等の暖房を使用する機会が増えます。同じ場所で長時間にわたり使用すると周囲が極度に乾燥し可燃物や壁などが発火しやすい状態となりますので、適切な使用をお願いいたします。

空気が乾燥していますので火の取扱いには十分注意してください。

鶴居村地域包括支援センターは高齢者のみなさんが 住み慣れた地域で元気に暮らすための生活をサポートします！

こんな困ったことはありませんか？

体が弱くなり
一人暮らしが不安

退院後の生活を
相談したい

物忘れが心配、
どうしよう

介護保険って何？
どうしたら使えるの？



近所の人が無となく
いつもと違う
(元気がない・見かけない)

地域包括支援センターはみなさんが住みなれた地域で暮らしていくために高齢者ご本人やご家族をサポートするために設けられた高齢者のための総合相談窓口です。役場保健福祉課内に設置され相談には保健師、社会福祉士の専門の資格を持った職員が対応させていただきます。ご自宅に訪問してご相談をお受けすることもできますのでまずはお電話ください。

認知症サポーター養成出前講座を開催します



認知症サポーターとは、認知症についての正しい知識、理解をし、認知症の方やそのご家族を地域で温かく見守ります。また、認知症の方が困っている様子が見られたら「何かお手伝いすることがありますか」と声かけをおこないます。認知症を理解し、支援する人（サポーター）が増えていくと認知症になっても安心して暮らせる地域になっていくことができます。少人数の集まりでも出前講座を開催しますのでお気軽にお問合せください。

☆ご相談・認知症サポーター養成出前講座の問合せ

鶴居村地域包括支援センター（鶴居村役場保健福祉課内）

電話 0154-64-2999（直通）

月曜日～金曜日 8:30～17:15（土日祝日は除く）

3歳児歯科表彰 虫歯のない子

令和7年11月に行われた3歳児健診で「虫歯のない子」として表彰されたお子さんです！



鶴居市街
八木澤 空央くん
やぎさわ あお



鶴居市街
柴田 二嘉ちゃん
しばた にか

新刊案内

鶴居村図書館だより

図書館からのお知らせ

今月の展示は「神社・仏閣」です。神社やお寺の歴史や文化、ガイドブックなど紹介しています。展示期間は12月26日（金）から1月26日（月）です。

紹介されている本は12/17(水)から利用できます。

- 開館時間……10:00～18:15
- 休館日……1月の休館日は1/27(火)です。年末年始は12/29(月)～1/3(土)まで休館します。
- 貸し出し……【本・雑誌・紙芝居】
2週間（1人10冊まで）
【CD・VTR・DVD】
2週間
（CD3点、VTR2点、DVD1点まで）

スマホ依存がわかる本



樋口 進 監修
片時もスマホを手放せない、複数のSNSアカウントのチェック、好奇心でオンラインカジノ…。だれもが陥りやすいものだからこそ知っておきたい、スマホ依存の実態と予防のしかた、抜け出し方を解説する。

カラダにうれしい酒粕レシピ帖



さけ かす子 著
栄養価が高く、料理をおいしく仕上げてくれる万能食材である酒粕。酒粕で作る主菜、調味料とアレンジ料理、おつまみ・副菜、焼き菓子、焼かないスイーツ&ドリンク、スープのレシピを紹介します。

雷電



梶 よう子 著
松江藩の江戸留守居役・石積多平太は、相撲嫌いなながら、藩主が力を入れる力士の育成に関わることに。松江のお抱え力士・雷電為右衛門の圧倒的な強さを前に、次第に相撲に魅入られ…。

オーロラが見られなくても



近藤 史恵 著
美しい街を歩いて、未知の料理と出会い、自分のためだけに時間を過ごす旅。人生に疲れた5人に、心地よい風が吹く-。おいしくて幸せな旅の短編集。

くすのき学級の魔女

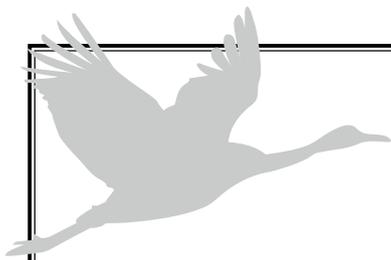


ふくだ たかひろ 作
田中 六大 絵
くすのき学級の男の子・ハルが見つけた人形は、実はおそろしい北の魔女でした。北の魔女は、学校にいた子どもや先生をカエルにかえてしまい…。特別支援学級に通う少年が、知恵と勇気と友情で困難に立ち向かう物語。

おはしうさぎ



くせ さなえ 作・絵
おはしがうまく使えない男の子の前に、まるでおはしみたいな耳を持つ「おはしうさぎ」が現れた。男の子は、おはしうさぎといっしょにおはしの特訓をすることに…。



KODOMO湿地交流 タンチョウ子ども交流ツアー ～長沼編～

9月号では、夏休みに長沼町の子どもたちを招いて行なった「タンチョウ子ども交流ツアー鶴居編」の様子をお伝えしました。その鶴居編に続き、10月に長沼編が行なわれ、10月5日・6日の1泊2日で村の小中学生7人と長沼町に行ってきました。長沼編には、美唄市宮島沼で活動するマガレンジャーの子どもたちも加わり、初めての3市町村交流となりました。

1日目は長沼町のガイドの方やデントコーン農家の方からお話をお聞きしたり、長沼町の舞鶴遊水地を使って繁殖・子育てをしていたタンチョウ家族を、バスの中から観察しました。子どもたちは、デントコーン畑の散策やタンチョウ観察ですっかり打ち解け、1日目の活動終了後のまとめの時間では、3市町村の子どもたちが協力して取り組んでいました。

宿泊は、美唄市の子どもたちと一緒に、栗山町の宿泊体験施設を利用しました。ホテルとは違い、寝具の準備なども自分たちで行います。子どもたちの部屋の様子を見に行くと、どの子も協力しながら寝床の準備をされていて、私が手を貸す必要はありませんでした。これも良い経験になったと思います。夕食後には、鶴の動きを学べる「タンチョウさんが転んだ」というレクリエーションで、楽しい時間を過ごしました。



「タンチョウさんが転んだ」の様子

2日目のメインの活動は、舞鶴遊水地を流れる小川での生きもの探しです。つるいっ子たちは、9月にタンチョウが餌場として利用している冬期自然採食地の小川で生きもの探しをしています。遊水地の小川には、鶴居では見られなかった虫や魚もいて、見たことがない生きものに子どもたちは大はしゃぎです。捕れた生きものについての解説の時間もあり、タンチョウの餌にもなる水辺の生きものへの興味と理解が深まったと思います。

今回の長沼編では、子どもの頃に、この交流事業に参加した高校生と高専生が、スタッフとして子どもたちの活動をサポートしてくれました。参加した子どもたちは、村から釧路市内に通学するお兄さんお姉さんを、身近に感じたことでしょう。KODOMO湿地交流の取り組みが、村内の世代間交流の機会となったことも、継続的な交流事業の成果の1つだと感じました。



舞鶴遊水地をバックに記念撮影



1月の鶴居村

日時：1月4日(日)11:00～

令和8年鶴居消防新年出初式

場所：役場駐車場・総合センター

日時：1月5日(月)8:30～

役場仕事始め

日時：1月11日(日)13:00～

鶴居村二十歳の集い

場所：総合センター 多目的ホール

今月号の表紙



早稲田の杜金管合奏団がディズニーワールドやアンパンマーチ等を保育園にて演奏してくれました。演奏後、園児達へ楽器を近くで見せてくれた様子です。間近で見る楽器の大きさや音に、園児たちは目を輝かせていました。



村公式SNS



Instagram



X(旧Twitter)



YouTube



Facebook

寄付



秋里 廣志 様

・地域振興及び地域福祉等に関する事業のため
300,000円

ふるさと納税(11月分速報値)

733件 12,309,000円

編集後記



新年あけましておめでとうございます。2026年が始まりました。新年の抱負等たてられましたでしょうか。私は、1年間でちょっと頑張ればできそうなことや、欲しいもの、やりたいこと等を合計100個程、年明けに書くようにしています。年末に達成したことを消すと、1年の振り返りにもなるのでおすすめです。2026年も感謝を忘れずに日々大切に過ごしていきたいと思います。2026年も笑顔溢れる輝ける年になりますように。今年もよろしく願いいたします。(C)

広報つるい1月号

No.773 鶴居村

発行・編集

鶴居村役場企画財政課企画調整係

〒085-1203 阿寒郡鶴居村鶴居西1丁目1番地

TEL:0154-64-2112 FAX:0154-64-2577



つるぼー

